

アレクサンドロスの貨幣 —貨幣図像の地域分布—

吉池孝一

1. はじめに

アレクサンドロスの名をもつ王はマケドニア王家だけでも、アレクサンドロス一世、二世、三世、四世と数えることができるが<sup>1</sup>、ここで問題にするアレクサンドロスは、三世(大王。以下は、ただアレクサンドロスとする)でありその王の名前を銘文に持つ貨幣である。アレクサンドロスの貨幣には、表に女神アテナの頭像・裏に勝利の女神ニケの立像の貨幣、表にヘラクレス頭像・裏にゼウス座像の貨幣がある。この二種が主な貨幣であり、そのうち後者がアレクサンドロスの東方への遠征とともにヘレニズム世界に広がっていったことは、*Greek Coins and Their Values volume 2* に掲載された諸貨幣によって知ることができる。本稿は後者の貨幣図像の地域分布を検討することにより、アレクサンドロスの貨幣にヘラクレス頭像・ゼウス座像が採用された経緯を考える。

2. アレクサンドロスの銀貨

紀元前4世紀のアレクサンドロス(前336年即位-前323年年没)<sup>2</sup>の東征によりギリシアの貨幣は、西のマケドニアから、東の中央アジアおよびインド西北一帯に広まった。ここに紹介する貨幣(図1)はアレクサンドロスの銀貨である。



表(オモテ)

裏(ウラ)

図1.アレクサンドロスの銀貨(古代文字資料館所蔵)

<sup>1</sup> 森谷公俊(2016; 2019:83)の2019年第6刷による。

<sup>2</sup> 森谷公俊(2016; 2019)による。

貨幣の表はライオンの頭皮を被ったヘラクレスの頭像。貨幣の裏は伸ばした右手に鷲、左手に笏（しゃく。権力の象徴）を持ったゼウスの座像とされる<sup>3</sup>。椅子の下に製造地を示すマーク（ミントマーク）がある（図 2）。Price (1991:460-468)によると、このマークは製造地がバビロニア（現在のイラク。ティグリス川とユーフラテス川下流の一角を指す）であることを示すという<sup>4</sup>。このマークをバビロニアのミントマークとする根拠について詳細は不明であるが、いまは Price(1991)にしたがう。なおバビロニアは東征にあたって通過した地であり、東征からの帰還の途上アレクサンドロスが逝去（前 323 年）した地でもある<sup>5</sup>。椅子の後ろにはギリシア文字による発行者名がみえる。重さは 17.0g。径は 25.47mm。厚さは 5.50mm。



図 2.バビロニアのミントマーク

### 3. 図像の地域的分布と利用する資料について

Sear(1978;2002) *Greek Coins and Their Values (Volume 1: Europe)*.および Sear(1979;2017) *Greek Coins and Their (Values volume 2: Asia and Africa)*を資料として、ヘラクレス頭像とゼウス座像を用いる貨幣の地域分布を確認し図像がどのようにして採用されたかについて考える。作業の方針はつぎのとおり。

- 1)アレクサンドロス(前 336 年即位-前 323 年年没)以前の貨幣と推定されているものを採用する。
- 2) 貨幣の写真と解説の両者があるものと、写真がなく解説だけのものがある。ここでは写真によって図像を確認できるもののみを採用する。
- 3)ヘラクレス頭像は①・・・として白丸で連番を付す。ゼウス座像（他の諸神および神に準ずる者を含む）は❶・・・などとして黒丸で連番を付す。なおゼウスではなく、他の諸神および神に準ずる者は\*❶のように\*を付す。
- 4)連番①❶のあとに Sear (1978;2002) (1979;2017)の資料番号を付す。
- 5)貨幣の銘文にはギリシア文字、初期ローマ字、カルタゴ文字、フェニキア文字、

<sup>3</sup> “Les monnaies d’ argent ont pour types communs, au droit la tête d’ Hercule coiffée de la peau de lion, au revers Jupiter trônant, l’ aigle sur la main droite étendue, la gauche appuyée sur le scepter.” Müller (1855:2).

<sup>4</sup> Price (1991:460-468) v.1. 本コインは Price (1991) v.2 に掲載されている 3661b に近い。

<sup>5</sup> 森谷公俊(2016; 2019)の pp.114-115 参照。

アラム文字が使用される。ギリシア文字と初期ローマ字は当該書では原文で提示されている。以下ではローマ字化（吉池による）して提示する。その他の文字について、当該書はローマ字に翻字したものを斜体で提示する。以下ではそれをそのまま利用する。

- 6) Sear (1978;2002) (1979;2017)の発行年を採用する。その発行年の根拠について、本稿の筆者に理解が及ばないものが大半であるが、貨幣の大まかな地理的な分布と、アレクサンドロス（大王）の時代以前であるか否かというザックリとした時代さえわかれば、議論の目的を達成することができるためである。

#### 4. ヘラクレス頭像の地域分布

ライオンの頭皮を被ったヘラクレスの頭像をもつ貨幣のうち、アレクサンドロス（前 336 年即位-前 323 年年没）以前のものを、発行地毎に配列する。②②～②⑧および③③～④⑥は *Greek Coins and Their Values ( volume 2)* に拠る。

##### 4.1 一覧表

###### ■Italy

- ①386 Herakleia 発行 前 433-380 年 銀貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 HE hē（右から左）。

###### ■Sicily

- ②758 Kamarina 発行 前 450-420 年 銀貨

裏：ヘラクレス像 顔左向き・髭あり。裏：銘文 kamarinaion（右から左）。

- ③759 Kamarina 発行 前 420-413 年 銀貨

裏：ヘラクレス像 顔左向き・髭なし。表：銘文 kamarina。

- ④840 Longane(位置不明)発行 前 450 年 銀貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。表：銘文 logganaion（右から左）。

- ⑤911 Selinus 発行 前 415-409 年 銀貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 selinontion。

- ⑥947 Syracuse 発行 前 405-380 年。金貨

表：ヘラクレス像 顔左向き・髭なし。表：銘文 syra。

- ⑦1026 Akragas 発行 前 405-392 年 銅貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。銘文なし。

- ⑧1111 Thermai 発行 前 407-340 年 銅貨

裏：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 thermitan。

- ⑨1177 Solus 発行 前 5 世紀後半 銅貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。表：銘文 solontinon。裏：カルタゴ文

字 *kfra*。

\*ギリシア文字銘文は不鮮明なため当該書の記述による。二言語併用貨幣。

#### ■Northern Greece

- ⑩1345 Dikaia 発行 前 515-490 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。銘文なし。
- ⑪1347 Dikaia 発行 前 490-480 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔左向き・髭あり。銘文なし。
- ⑫1448 Philippi 発行 前 357-330 年 金貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 *philippōn*。  
\*Philippi はフィリッポス二世が占領し命名した都市。
- ⑬1449 Philippi 発行 前 357-330 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 *philippōn*。
- ⑭1452 Philippi 発行 前 357-330 年 銅貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 *philippōn*。
- ⑮1453 Pydna 発行 前 389-379 年 銅貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 *pydnaiōn*。

#### The Macedonian Kingdom

- ⑯1497 Archelaus 王 首都 Pella 発行 前 413-399 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 *arx*。  
\*Archelaus はマケドニア王 Perdikkas II の子。銘文 *arx* は *arxelao* の略。
- ⑰1508 Amyntas III 首都 Pella 発行 前 389-338 年と前 381-369 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 *amynta*。  
\*Amyntas III はマケドニア王 アレクサンドロス一世の曾孫。一説に Amyntas IV (前 359-357 年 ペルディッカス三世の子)。
- ⑱1510 Amyntas III 首都 Pella 発行 前 389-338 年と前 381-369 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 *amynta*。
- ⑲1511 Amyntas III 首都 Pella 発行 前 389-338 年と前 381-369 年 銅貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 *amynta*。
- ⑳1514 Perdikkas III 発行 首都は Pella 前 365-359 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 *perdikka*。  
\*Perdikkas III はマケドニア王 フィリッポス二世の兄
- ㉑1515 Perdikkas III 首都は Pella 発行 前 365-359 年 銅貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 *perdikka*。
- ㉒6665 Philip II 首都 Pella 発行 前 359-336 年 金貨

- 表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 philippoy。
- ⑳6667 Philip II 首都 Pella 発行 前 359-336 年 金貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 philippoy。
- ㉑6672 Philip II 首都 Pella 発行 前 359-336 年 金貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 philippoy。
- ㉒6673 Philip II 首都 Pella 発行 前 359-336 年 金貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 philippoy。
- ㉓6673 Philip II 首都 Pella 発行 前 359-336 年 金貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 philippoy。
- ㉔6686 Philip II 首都 Pella 発行 前 359-336 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 philippoy。
- ㉕6687 Philip II 首都 Pella 発行 前 359-336 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 philippoy。
- ㉖1612 Dikaia 発行 前 480-450 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 dik (右から左)
- ㉗1760 Thasos 発行 前 357 年以前 銅貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。裏：銘文 thasion。

#### ■ Central Greece

- ㉘2219 Skotussa 発行 前 400-367 年 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 sko。
- ㉙2505 Karystos 発行 前 350 年頃 銀貨  
表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 kary。

#### ■ Peloponnesos, The Cyclades and Crete

なし

#### ■ Asia Minor

##### Black Sea Area

- ㉚3766 Herakleia Pontika 発行 前 394-364 年 銀貨 4.9gm  
表：ヘラクレス像 顔左向き・髭あり。裏：銘文 HPAKΛEIA hēpakleia。  
\* Herakleia はギリシア中央部アテネ近くの Megara と Tanagra からの移民により前 6 世紀中頃に作られた都市。
- ㉛3769 Herakleia Pontika 発行 前 394-364 年 銀貨 1.2gm  
表：ヘラクレス像 顔左向き・髭あり。裏：銘文 hēpakleia。
- ㉜3770 Herakleia Pontika 発行 前 364-352 年 銀貨 4gm

表：ヘラクレス像 顔左向き・髭あり。裏：銘文 *hēpakleia*。

③⑥3773 Herakleia Pontika 発行 前 352-345 年 銀貨 12gm

表：ヘラクレス像 顔左向き・髭なし。裏：銘文 *hēpakleia*。

③⑦3774 Herakleia Pontika 発行 前 352-345 年 銀貨 4gm

表：ヘラクレス像 顔左向き・髭なし。裏：銘文 *hēpakleia*。

#### Western Asia Minor

③⑧4986 Kos 発行 前 366 年以後 銀貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 *kōion* と *diōn*。

\* Kos は Peloponnesos の中央東端の Epidauros からのドーリア人によって植民地化された都市。

③⑨4988 Kos 発行 前 366 年以後 銀貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。裏：銘文 *kōion* と *phil*。

#### Central and Southern Asia Minor

④⑩5353 Telmessos 発行 前 5 世紀末 銀貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。銘文なし。

④⑪5642 Tarsos 発行 前 379-374 年 (アケメネス朝地方長官 Pharnabazos の時) 銀貨

表：ヘラクレス像 顔 4 分の 3 右向き・髭なし。表：銘文アラム文字 *Khilik*。

裏：銘文 *TEPEIKON tersikon*。

\* 二言語併用貨幣。

#### Cyprus

④⑫5730 Kition 発行 前 5 世紀中期 銀貨 0.9gm

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。銘文なし。

④⑬5732 Kition 発行 前 5 世紀中期 銀貨 0.22gm

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭なし。銘文なし。

④⑭5804 Salamis 発行 前 411-373 年 金貨 0.78gm

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。銘文不明。

④⑮5805 Salamis 発行 前 411-373 年 金貨 0.4gm

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。銘文不明。

④⑯5804 Salamis 発行 前 411-373 年 銀貨

表：ヘラクレス像 顔右向き・髭あり。銘文キプロス文字 *e u va ko ro*。

裏：銘文キプロス文字 *pa si le vo se*。

#### 4.2 分布図

以上のヘラクレス頭像貨幣を資料とし分布図を描くとつぎのようになる。同一地名に複数枚ある場合は最初の連番のみを採用した。



図 3. ヘラクレス頭像分布図

## 5. ヘラクレス頭像の分布の解釈

まず、ギリシア北部について一覧表によってヘラクレス頭像の分布をみるとつぎのとおりである。

マケドニア王国 (The Macedonian kingdom) のアルケラオス (16)、アミュンタス三世 (17)(18)(19)、ペルディッカス三世 (20)(21)、フィリッポス二世 (22～28) の貨幣にヘラクレス頭像があることより、ヘラクレス頭像を使用することはマケドニア王家の伝統でありアレクサンドロスの貨幣はその伝統にしたがっていることがわかる。ヘラクレス頭像の髭の有無について興味深いことがある。一覧表の 46 枚の貨幣のうち髭が有るものは 20 枚、無いものは 26 枚であり大きな差はないが、フィリッポス二世(22～28)およびフィリッポス二世が作った都市 **Philippi** から発行された(12)から(14)の合計 10 枚はすべて髭がない。アレクサンドロスが発行した貨幣のヘラクレス頭像もすべて髭がない。この類似により、アレクサンドロスの貨幣図像は直接には父親のフィリッポス二世によったとみてよいであろう。

なお、ヘラクレス頭像分布図をみるとギリシア北部 (Northern Greece) とシチ

リア島 (Sicily) に集中している。この偶然とは見なし難い偏りが何をあらわしているのか興味深い。あるいはマケドニア王国とシチリア島との何らかの関係を示しているのかもしれない。

## 6. ゼウス座像及び諸神座像の分布

笏を持つゼウス座像、および笏を持つ諸神 (神に準ずる者を含む) は次のとおり。後者には\*を付す。⑬～⑱は *Greek Coins and Their Values (volume 2)* に拠る。

### 6.1 一覧表

#### ■Italy

\*①329 Taras 発行 前460-420年 銀貨

裏: 男性座像・左向き・右手に糸巻棒・右手に左手に笏。表: 銘文 tarantinōn。

\*②498 Rhegion 発行 前466-415年 銀貨

裏: 都市創始者座像・左向き・右手に職杖。裏: 銘文 RECINOS reginos。

#### ■Sicily

③784 Galaria 発行 前460年頃 銀貨

表: ゼウス座像・左向き・左手に鷲を乗せた笏。表: 銘文 soter (右から左)。

裏: 銘文 CAAA gala。

\*④881 Panormos 前415年以前 銀貨

表: ポセイドン座像 (岩の上)・右向き・右手に三つ又のほこ (制海権の象徴)。

裏: カルタゴ文字 sys。

#### ■Northern Greece

なし

#### ■Central Greece

⑤2082 Gomphi / Philippopolis 発行 前350年頃 銀貨

裏: ゼウス座像 (岩の上)・左向き・右手に笏。裏: 銘文 philippopolitōn。

#### ■Peloponnesos

⑥2672 Arkadia 発行 前480-465年 銀貨

表: ゼウス座像・左向き・左手に笏・右手に鷲。

裏: 女神アルテミスの頭像 (方形の金型)・左向き。銘文 a/r (rは鏡文字)。

⑦2674 Arkadia 発行 前465-455年 銀貨



表：ゼウス座像・左向き・左手に笏・伸ばした右手上方に飛ぶ鷲。  
裏：女神アルテミスの頭像（方形の金型）・左向き。銘文 *arkadikon*（右から左）。

⑧2676 Arkadia 発行 前 465-455 年 銀貨

表：ゼウス座像・左向き・左手に笏・伸ばした右手に蛇・右手上方に飛ぶ鷲。  
裏：女神アルテミスの頭像（方形の金型）・左向き。銘文 *arka*。

⑨2677 Arkadia 発行 前 465-455 年 銀貨

表：ゼウス座像・左向き・左手に笏・伸ばした右手上方に飛ぶ鷲。  
裏：女神アルテミスの頭像（方形の金型）・右向き。銘文 *ARKADIQONarkadiqon*（右から左）。

\*⑩2809 Epidauros 発行 前 350-330 年 銀貨

裏：アスクレピオス座像・左向き・左手に笏・右手に蛇。銘文 *the*。

⑪2866 Elis 発行 前 452-432 年 銀貨

表：ゼウス座像（岩の上）・左向き・伸ばした右手に鷲・右肩に笏がもたれかかる。裏：銘文 *FAA fal*。

⑫2968 Achaean 発行 前 370-360 年 銀貨

裏：ゼウス座像・左向き・伸ばした右手に鷲・左に笏。裏：銘文 *axaiōn*。

■The Cyclades and Crete

なし

■Asia Minor

Black Sea Area, Western Asia Minor

なし

Central and Southern Asia Minor

\*⑬5641 Tarsos 発行 前 379-374 年（アケメネス朝地方長官 *Pharnabazos* の時） 銀貨

表：バール（*Baal*）神座像・左向き・右手に笏。銘文アラム文字 *Baal tarz*。  
裏：銘文アラム文字 *Pharnabazu khilik*。

\*⑭5645 Tarsos 発行 前 378-362 年（アケメネス朝地方長官 *Datames* の時） 銀貨

表：バール（*Baal*）神座像・右向き・右手に笏。銘文アラム文字 *Baal tarz*。  
裏：銘文アラム文字 *Tadnmu*。

\*⑮5647 Tarsos 発行 前 378-362 年 銀貨

表：女神アテナ座像・左向き・右手に笏。裏：銘文 *tepsikon*。

\*⑯5650 Tarsos 発行 前 361-334 年（アケメネス朝地方長官 *Mazaios* の時） 銀貨

表：バール（*Baal*）神座像・左向き・左手に笏。伸ばした右手に鷲。銘文アラム文字 *Baal tarz*。  
裏：銘文 *Mazdai*。

- \* ⑰5651 Tarsos 発行 前 361-334 年 銀貨  
表：バール（Baal）神座像・左向き・右手に笏。銘文アラム文字 *Baal tarz.*  
裏：銘文アラム文字 *Mzdai zi al Ebernahara vu Khilik.*
- \* ⑱5652 Tarsos 発行 前 361-334 年 銀貨  
表：バール（Baal）神座像・左向き・右手に笏。銘文アラム文字 *Baal tarz.*  
裏：銘文アラム文字 *Mzdai.*

Cyprus

なし

6.2 分布図

以上のゼウス座像および諸神座像（\*を付す）の貨幣を資料とし分布図を描くとつぎのようになる。同一地名に複数枚ある場合は最初の連番のみを採用した。



図 4. ゼウス・諸神座像分布図

7. ゼウス座像及び諸神座像の分布の解釈

アレクサンドロス以前にマケドニア王国を含むギリシア北部にゼウスの座像はない。笏を持ったゼウス座像は**③⑤⑥⑪⑫**である。貨幣以外のものでは、イ

タリ南東のアプリア出土のアンフォラ（両取っ手付きの壺）に笏を持ったゼウスの座像があり Richter(1966)で確認することができる（図5）。Richter(1966)によるとアプリア出土のゼウス座像の年代は紀元前4世紀の第3四半期であり<sup>6</sup>、アレクサンドロスとほぼ同時代となる。アレクサンドロスのゼウス坐像は、直接には③⑤⑥⑩⑫の貨幣図像が契機となったのであろうが、アンフォラの図像に採用されていることなどからみて、当時“笏を持ち椅子に座るゼウスの像”は広くギリシア世界に受け入れられていたとみてよいのであろう。



図5. アンフォラのゼウスの座像(Richter 1966 による)

興味深いのはゼウス以外の諸神である。諸神の坐像は①②④⑩⑬にみられるように、地中海の北の沿岸に沿って西から東のはずれまで広く分布している。参考までに、⑩の Epidauros 発行のアスクレピオス（ギリシア神話の名医）座像と⑬の Tarsos 発行のバール神（セム族の神）座像を Richter（1966）と Mitchiner（2004）より引用する。



図6 アスクレピオス座像  
(Richter 1966 による)



図7. バール座像  
(Mitchiner 2004 による)

<sup>6</sup> 脚注 “16. N 2817 (K 127). ‘Ornate Apulian; by the Darius Painter; third quarter of the fourth century B.C.’ (Trendall).” (p.22).

地中海一体にこのような笏を持った神の座像のあることを意識しつつ、直接にはギリシア世界のゼウスの坐像に拠ったとするのが穏当なところであろう。

つぎに地中海一帯の“笏を持った神の坐像”が何に起因するかという問題に触れておきたい。

#### 8. エジプト新王朝壁画の神の座像

地中海一帯にある“笏を持つ神の坐像”が何に起因するか。これについては、やや唐突であるかもしれないが、エジプト新王国時代（前16世紀-前11世紀）とされる壁画にある“曲笏と鞭杖を持ち椅子に座るオシリス神の像”をあげたい（図8）<sup>7</sup>。

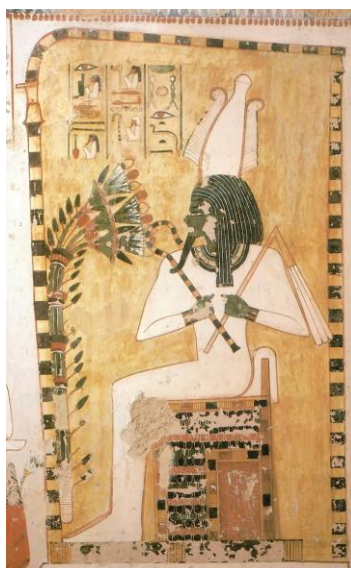


図8. エジプト新王朝壁画 神の座像  
(高階秀爾監修 1985;1991 による)

目にした中ではこれが古い。このエジプトの“笏を持つ神の坐像”のモチーフがエジプトから地中海一帯に広まったと想定しておきたい。その後、西のギリシアと東のアケメネス朝下で貨幣の図像に採用され、その両者かあるいはいずれか一方の影響により、アレクサンドロスの貨幣図像ができたと想定する。

#### 9. おわりに

アレクサンドロスの貨幣の図像の由来を次のように想定する。

1. “ライオンの頭皮を被ったヘラクレスの頭像”はマケドニア王家の伝統を受け継いだものである。

<sup>7</sup> 高階秀爾監修(1985;1991)32 頁の写真による。

2. “笏を持つゼウスの坐像” は地中海に広く見られる “笏を持つ神の坐像” の神にギリシア神話の最高神ゼウスを見立てて採用したものである。

【参考文献（発行年順）】

- Müller, L. (1855) *Numismatique d'Alexandre le Grand, suivie d'un appendice contenant les monnaies de Philippe II et III*, Copenhagen. S. Gardiakos(1981)*The Coinages of Alexander the Great I*, Chicago:Obol International 所収による。
- Richter, G.M.A.(1966)*The Furniture of the Greek, Etruscans, and Romans*, Phaidon Press, London.
- Sear, D. R. (1978;2002) *Greek Coins and Their Values (Volume 1: Europe)*. Seaby, London. Reprinted 2002.
- Sear, D. R. (1979;2017) *Greek Coins and Their ( Values volume 2: Asia and Africa)* . Seaby, London. Reprinted 2017.
- 高階秀爾監修(1985;1991)『NHK ルーブル美術館 I 文明の曙光 古代エジプト／オリエント』東京：日本放送出版協会。1991年第6刷による。
- Price,M.J.(1991) *The coinage in the name of Alexander the Great and Philip Arrhidaeus : a British Museum catalogue v.1,v.2*. London : British Museum.
- Mitchiner, M. (2004) *Ancient Trade and Early Coinage*,V.1. Hawkins Publications, London.
- 森谷公俊(2016; 2019)『アレクサンドロスの征服と神話』（講談社学術文庫 2350）東京：講談社、2019年第6刷による。